

定期的ながん検診が あなたの命を守ります

【詳細】健康支援課 032-6407・6410

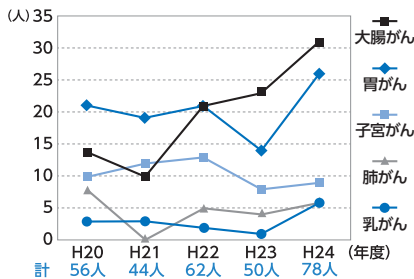
あなたの体、本当に健康ですか？

がん（悪性新生物）は、苫小牧市民の死亡原因の約30%（第1位）を占める病気です。男性の約2人に1人、女性の約3人に1人の割合でがんになると言われています。早期発見・治療が大事とされるこの病気。自分は健康だと思っているあなたにこそ、がん検診が必要です！

増えています！ 大腸がんにご注意！

平成24年度に市で行ったがん検診では、受診した方のうち、78人ががんが見つかりました。特に多く発見されているのが、**大腸がん**です（図参照）。下表のとおりがんによる死亡者数の中でも男女とも上位になっています。

《図》検診によるがん発見者の推移



《表》市内のがん死亡者数（平成23年度）

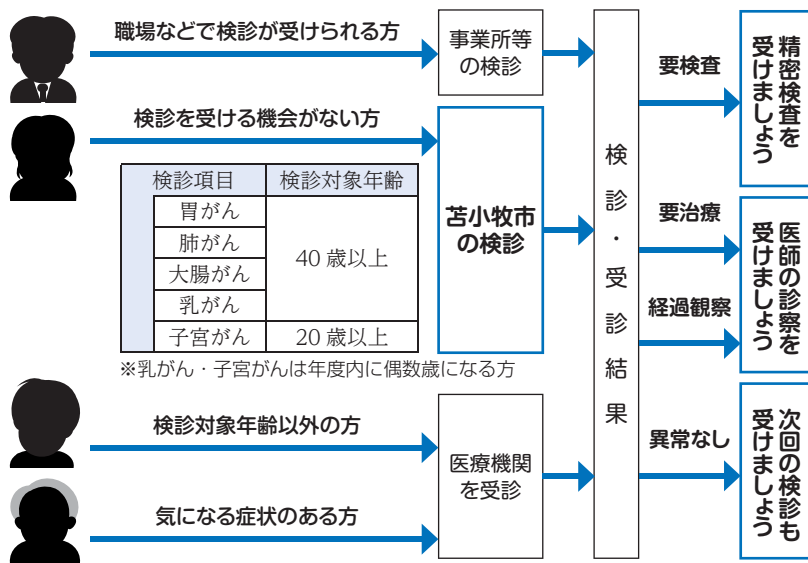
	1位	2位	3位
男性	肺がん (62人)	胃がん (35人)	大腸がん (30人)
女性	大腸がん (31人)	肺がん (25人)	胃がん (16人)

資料：日胆地域保健情報年報（平成23年度版）

大腸がんの患者数は、国内ではこの50年で10倍に増加しており、特に40代から高齢になるにつれて急激に増えていく傾向があります。自覚症状がない早期に発見する唯一の方法が、がん検診です。

受けて下さい!がん検診

市では、がんの早期発見・治療のためにがん検診を行っています。職場などで検診を受けられない方は、市の検診を利用してください。検診対象年齢以外の方や、気になる症状のある方は、直接医療機関を受診してください。



がんは恐ろしい病気。だから、早期発見が大切。

聞いて
みました



市立病院消化器内科
やまもと あみやす
山本 文泰 医師

大腸がんの検診は提出された便から腸内の出血を検知するため、がんだけではなくポリープ、潰瘍などを発見するきっかけになります。昔と比べて、検査技術の向上とともに精度も格段に上がってきていますので、**異常が見つかった場合は自分で判断しないで、その後の精密検査をしっかりと受けて下さい。**

医療の進歩によって、がんは高い確率で治すことができる病気になってきました。しかし、それは早期で発見した場合です。全てのがんに言えることですが、自覚症状があつてからでは手遅れになってしまうケースもあります。「早期がん」として発見できる期間は非常に短いものです。忙しいから、恐ろしいからなど思わずに、定期的に検診を受け、健康で安心な生活を送りましょう。

各種がん検診は毎月行っています。詳しい日時や内容、料金については、4月に発行の「わが家の健康カレンダー」、または毎月の広報とまこまい「健康ガイド」をご覧ください。